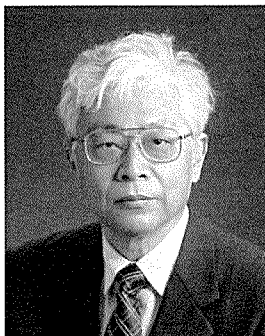


業績目録（森田康夫）

著者	東北大学史料館
号	1093
発行年	2009-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065910

森田康夫教授業績目録

平成 21 年 3 月
東北大学史料館
(著作目録第 1093 号)



森 田 康 夫 教 授 略 歴

生年月日	昭和20年10月24日
本 籍 地	宮城県
職 名	教授
所 属	理学研究科 数学専攻 代数学講座

最終学歴

昭和43年 3 月	東京大学 理学部 数学科 卒業
昭和45年 3 月	東京大学 大学院 理学系研究科 数学専攻 修士課程修了

職 歴

昭和45年 4 月 1 日	東京大学 理学部 数学科 助手
昭和51年 4 月16日	北海道大学 理学部 数学科 講師
昭和53年 8 月16日	北海道大学 理学部 数学科 助教授
昭和56年 8 月 1 日	東北大学 理学部 数学科 助教授
昭和63年 8 月 1 日	東北大学 理学部 数学科 教授
平成 7 年 4 月 1 日	東北大学 大学院 理学研究科 数学専攻 教授
平成21年 3 月	定年退職

学 位

昭和50年 4 月14日	理学博士（東京大学 大学院 理学系研究科）
--------------	-----------------------

大学・学会・社会における活動（主たるもののみ）

平成6年度、11年度、15年度	東北大学 理学部 数学科長、東北大学 大学院 理学研究科 数学専攻長
平成12年度－13年度	東北大学 評議員
平成元年度－平成20年度	運輸交通専門委員会 委員、平成8年9月より委員長
平成18年9月	東北大学 総長特任補佐（交通計画担当）
平成18年10月－平成21年3月	東北大学 総長特別補佐（交通計画担当）
平成元年度、3年度、5年度－7年度、10年度、14年度－16年度	東北大学 入学試験委員会 研究委員会 委員
平成17年度－平成20年度	東北大学 入試企画・広報委員会 委員
昭和62年度、平成11年度－平成17年度	（社）日本数学会 評議員
平成9年度－平成18年度	（社）日本数学会 代数学分科会 運営委員
平成12年度－平成18年度	（社）日本数学会 理事
平成15年度－平成16年度	（社）日本数学会 理事長
平成19年度－平成20年度	（社）日本数学会 監事
平成19年度	（社）日本数学会 秋期総合分科会 委員長
平成18年度－	国際教育学会 顧問
平成13年度－平成15年度	京都大学 数理解析研究所 運営委員
平成19年度－平成20年度	京都大学 数理解析研究所 専門委員
平成12年9月21日－平成17年9月30日	日本学術会議 数学研究連絡委員会委員
平成18年5月－平成18年7月	日本学術会議 特任連携会員
平成18年8月－平成23年9月	日本学術会議 連携会員
平成18年8月－平成23年9月	日本学術会議 数理学委員会 委員
平成18年10月－平成20年9月	日本学術会議 数理学委員会 数学教育分科会 委員長
平成20年6月－平成23年3月	日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会 委員
平成20年8月－	日本学術会議 日本の展望委員会 大学と人材分科会 委員
平成18年度－	（財）大学基準協会 大学評価委員会 委員
平成20年4月1日－平成21年6月30日	大学評価・学位授与機構 国立大学教育研究評価委員会専門委員
平成3年7月－	（財）川井数理学財団 評議員
平成17年度－	（社）理科振興協会 その道の達人
平成19年－	カンボジア文部科学スポーツ省 名誉顧問
平成18年8月－平成20年5月	（財）数学オリンピック財団 理事
平成20年6月－	（財）数学オリンピック財団 監事

業 績 目 録

I. 著書・編著

1. 藤崎源二郎, 森田康夫, 山本芳彦, 数論への出発, 日本評論社, 1980.
2. p 進特殊関数について, 都立大学数学教室セミナー報告, 1981, iii + 75.
3. I. Satake and Y. Morita Editors. , Automorphic functions of several variables, (Proceedings of a symposium sponsored by the Taniguchi Symposium held at Katata, 1983) Progress in Math., 46(1984), Birkhäuser, ix+381.
4. J. Dieudonné 著, 上野健爾, 金子晃, 浪川幸彦, 森田康夫, 山下純一 訳, 数学史, I-III, 岩波書店, 1985, xv + 1049.
5. 日本数学会編集, 岩波数学辞典, 第3版, 岩波書店, 1985, 25 + 1609.
6. 彌永昌吉, 佐々木力編, 現代数学対話, 朝倉書店, 1986, ii + 234.
7. 森田康夫, 代数概論, 裳華房, 1987, ix + 284.
8. 猪狩惺編, 数学ってなんだろう, 日本評論社, 1997, vii + 314.
9. 森田康夫, 整数論, 東京大学出版会, 1999, vii + 277.
10. 上野健爾, 志賀浩二, 砂田利一編, 現代数学の展望, 日本評論社, 2001, iv + 210.
11. 樋口禎一, 森田康夫編, 高校数学解法辞典, 旺文社, 2003, 1043ページ.
12. 長岡亮介, 森正武編, 数学基礎, 旺文社, 2003, 134ページ.
13. 長岡亮介, 森正武編, 数学 I, 旺文社, 2003, 146ページ.
14. 長岡亮介, 森正武編, 数学 A, 旺文社, 2003, 119ページ.
15. 長岡亮介, 森正武編, 新編数学 I, 旺文社, 2003, 142ページ.
16. 長岡亮介, 森正武編, 新編数学 A, 旺文社, 2003, 111ページ.
17. 長岡亮介, 森正武編, 数学 II, 旺文社, 2004, 239ページ.

18. 長岡亮介, 森正武編, 数学 B, 旺文社, 2004, 182ページ.
19. 長岡亮介, 森正武編, 数学 C, 旺文社, 2004, 160ページ.
20. 長岡亮介, 森正武編, 新編数学 II, 旺文社, 2004, 215ページ.
21. 長岡亮介, 森正武編, 新編数学 B, 旺文社, 2004, 158ページ.
22. 長岡亮介, 森正武編, 新編数学 C, 旺文社, 2004, 151ページ.
23. 長岡亮介, 森正武編, 数学 III, 旺文社, 2005, 206ページ.
24. 長岡亮介, 森正武編, 新編数学 III, 旺文社, 2005, 205ページ.
25. 藤崎源二郎, 森田康夫, 山本芳彦, 数論への出発 (増補版), 日本評論社, 2004.
26. 上野健爾, 岡部恒治編, こんな入試になぜできない, 2005, 日本評論社, vii+294ページ.
27. 数学書房編集部編, この数学書がおもしろい, 2006, 白揚社, iv+176.
28. 森田康夫, 桑田孝泰, 数学入門 I, 2006年, サイエンス社, iv+121.
29. 桑田孝泰, 森田康夫, 数学入門 II, 2007年, サイエンス社, iv+121.
30. 中井仁, 伊藤卓編, 検証共通 1 次・センター試験, 2008年, 大学教育出版, vii+212.

II. 研究論文 (英文)

1. Yasuo Morita, Hecke polynomials $H_k^{(p)}(u)$ ($p = 2$ or 3), J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. I, 15 (1968), 99-105.
2. Yasuo Morita, Hecke polynomials of modular groups and congruence zeta functions of fibre varieties, J. Math. Soc. Japan, 21 (1969), 607-637.
3. Yasuo Morita, On transcendency of special values of arithmetic automorphic functions, J. Math. Soc. Japan, 24 (1972), 268-274.

4. Yasuo Morita, An explicit formula for the dimension of spaces of Siegel modular forms of degree two, J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. IA, 21 (1974), 169-248.
5. Yasuo Morita, A p-adic analogue of the Γ -function, J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. IA, 22 (1975), 255-266.
6. Yasuo Morita, On potential good reduction of abelian varieties, J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. IA, 22 (1975), 437-447.
7. Yasuo Morita, On the Hurwitz-Lerch L-functions, J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. IA, 24 (1977), 29-43.
8. Yasuo Morita, Examples of p-adic arithmetic functions. In: Algebraic Number Theory, Kyoto, 1977, 143-148.
9. Yasuo Morita, A p-adic integral representation of the p-adic L-function, J. Reine u. Angew. Math., 302 (1978), 71-95.
10. Yasuo Morita, Krasner's analytic functions and rigid analytic spaces. In: Proc. of the Conference on P-adic Analysis, Nijmegen, 1978, 134-142.
11. Yasuo Morita, On the radius of convergence of the p-adic L-function, Nagoya Math. J., 75 (1979), 177-193.
12. Yasuo Morita, On the induced h-structure on an open subset of the rigid analytic space $\mathbf{P}^1(k)$, Math. Ann., 242 (1979), 47-58.
13. Yasuo Morita, Analytic functions on an open subset of $\mathbf{P}^1(k)$, J. Reine u. Angew. Math., 311/312 (1979), 361-383.
14. Yasuo Morita, Classification of a family of abelian varieties parametrized by reduction modulo P of a Shimura curve, Proc. Japan Acad. 56 (1980), 338-341.
15. Yasuo Morita, A p-adic theory of hyperfunctions, I, Publ. Res. Inst. Math. Sci., 17 (1981), 1-24.
16. Yasuo Morita, Reduction modulo P of Shimura curves, Hokkaido Math. J., 10 (1981), 209-238.
17. Yasuo Morita, A. Murase, Analytic representations of SL_2 over a p-adic number field, J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. IA, 28 (1982), 891-905.

18. Yasuo Morita, A non-archimedean analogue of the discrete series, Groupe d'étude d'Analyse Ultramétrique, 9 (1983), J13-01 – J13-04.
19. Yasuo Morita, Analytic representations of SL_2 over a p-adic number field, II, Progress in Math., 46 (1984), 282-297.
20. Yasuo Morita, Analytic representations of SL_2 over a p-adic number field, III, Advanced Studies in Pure Math., 7 (1985), 185-222.
21. W. H. Schikhof, Yasuo Morita, Duality of projective limit spaces and inductive limit spaces over a nonspherically complete nonarchimedean field, Tohoku Math. J., 38 (1986), 387-397.
22. Yasuo Morita, A lower bound of $L_p(1, \chi)$ for a Dirichlet character χ , Advanced Studies in Pure Math. 17 (1989), 331-346.
23. Yasuo Morita, A p-adic theory of hyperfunctions, II. In : Algebraic Analysis, Vol.1, 457-472, Academic Press, 1988.
24. Yasuo Morita, A note on the Hilbert irreducibility theorem – The irreducibility theorem and the strong approximation theorem, Proc. Japan Acad. 66 (1990), 101-104.
25. Yasuo Morita, On vanishing of cohomologies of rigid analytic spaces, Lecture Notes in Math., 1454 (1991), 314-318.
26. Yasuo Morita, Atsushi SATO, Distribution of rational points on hyperelliptic surfaces, Tohoku Math. J., 44(1992), 345-358.
27. Yasuo Morita, Remarks on a conjecture of Batyrev-Manin, Tohoku Math. J., 49 (1997), 437-448.
28. Yasuo Morita, Tate's conjectures for the second étale cohomologies of abelian surfaces, Advanced Studies in Contemporary Mathematics, Algebraic Number Theory, 1 (1999), 45-56.
29. Yasuo. Morita, Welcome to the Third Series of the Japanese Journal of Mathematics, the Third Series of the Japanese Journal of Mathematics, 1 (2006), 473-473.

Ⅲ. 研究論文（和文）

1. 森田康夫, 超越数論について（整数論的な解析関数についての予想）, 数学の歩み, 17-2 (1972), 17-26.
2. 森田康夫, p -進 L -関数の積分表示, 数理解析研究所講究録, 295 (1977), 30-37.
3. 森田康夫, p -進超関数について, 代数学シンポジウム報告集（於 岐阜大学）, 23 (1977), 115-124.
4. 森田康夫, p -進特殊関数について, 数学, 32 (1980), 17-29.
5. 森田康夫, Kummer の合同式と Kubota-Leopoldt の仕事, 数理解析研究所講究録, 411 (1981), 2-8.
6. 森田康夫, Ferrero-Washington の仕事, 数理解析研究所講究録, 411 (1981), 69-76.
7. 森田康夫, p -adic L -function と K theory, 代数セミナー報告集（於 城崎町）, 1981, 11-42.
8. 森田康夫, $L_p(1, \chi)$ の下からの評価について, 数理解析研究所講究録, 599 (1986), 95-106.
9. 森田康夫, A note on the Hilbert irreducibility theorem, the irreducibility theorem and the strong approximation theorem, 数理解析研究所講究録, 658 (1988), 8-16.
10. 森田康夫, Duality of linear topological spaces over a p -adic number fields, 数理解析研究所講究録, 675 (1988), 235-241.
11. 森田康夫, 代数曲面に対する Mordell の予想の analogy 等, 整数論シンポジウム報告集（於 大阪大学理学部）, 1989, 43-52.
12. 森田康夫, 代数曲面上の有理点について, 代数学シンポジウム報告集（於 北海道大学理学部）, 35 (1989), 209-230.
13. 森田康夫, 佐藤篤, Hyperelliptic surfaces 上の有理点の分布について, 数理解析研究所講究録, 759 (1991), 218-229.

14. 森田康夫, Problems on computability concerning distribution of rational points on algebraic varieties, 『代数幾何学城崎シンポジウム』報告集, 1995, 3-9.
15. 森田康夫, 次の高等学校の指導要領の改定に望むこと——大学から見た高等学校の数学教育, 『数学教育の重要性をあえて訴える』, 日本学術会議 数学教育小委員会, 1995, 35-38.
16. 森田康夫, 大学が求める学生のタイプと入学広報, 平成9年度大学広報セミナー報告書『これからの大学広報』, 大学入試センター, 1997, 19-26.
17. 永井順国他5名, 求める学生は得られたか(パネルディスカッション), 平成9年度大学広報セミナー報告書『これからの大学広報』, 大学入試センター, 1997, 27-59.
18. 森田康夫, 不定方程式研究の現状の紹介, 数理解析研究所講究録, 1219 (2001), 1-10.
19. 森田康夫, センター試験と二次試験の「数学」の得点の相関性について, 学力向上のための数学教育の研究(数学教育の会編集), 数学教育研究5号 (2003), 37-41.
20. 森田康夫, センター試験と二次試験の「数学」の得点の相関について, 大学入試研究ジャーナル, 13 (2003), 95-97.
21. 倉元直樹・森田康夫 (2004). 高校と大学をつなぐ入試問題設計のための開発研究, 大学入試研究ジャーナル, No.14, 31-36.
22. 森田康夫, 日本の数学教育の課題, 論文集「確かな数学力を向上させる教育」, 数学教育研究 (数学教育の会), 7 (2005), 65-69.
23. 森田康夫, 高等学校における新課程の「平面図形」の履修状況について, 数学通信, 10 (2005), 53-55.
24. 森田康夫, 新教育課程が大学入試と大学教育にもたらす影響, 第2回東北大学高等教育フォーラム「新時代の大学教育を考える(2)－高校での数学教育の現状と東北大学の入試・教育の課題－」報告集, pp.12-14, 2005
25. 森田康夫, 平成18年1月 少子化は教育にどのような影響を与えているか, 論文集「確かな数学力を向上させる教育」, 数学教育研究 (数学教育の会), 8 (2006), 59-68.

26. 倉元直樹・西郡大・佐藤洋之・森田康夫, 後期日程入試の廃止問題に対する高校教員の意見構造, 東北大学高等教育開発推進センター研究紀要, No.1 (2006), 29-40.
27. 森田康夫, 日本における数学について, 科学 (岩波), 76 (2006), 1264-1268.
28. 森田康夫, 入学試験の品質とミスの管理, 論文集「確かな数学力を向上させる教育」, 数学教育研究 (数学教育の会), 9 (2007), 177-181.
29. 森田康夫, ガンボジアの数学教育について, 数学通信, 11 (2007), 60-62.
30. 森田康夫, 少子化と数学教育, 数学教育, 62 (平成20年), 53-60.
31. 倉元直樹, 森田康夫, 鴨池治, 可否入替りによる得点調整方法の評価ー科目選択の公平性の観点からー, 大学入試ジャーナル, 18 (2008), 79-84.
32. 倉元直樹, 西郡大, 木村拓也, 森田康夫, 鴨池治, 選抜試験における得点調節の有効性と限界ー可否入替りを用いた評価の試みー, 日本テスト学会誌, 4 (2008), 135-152.

IV. 解説

1. 彌永昌吉, 森田康夫, 数論, 数理科学, 1971, 48-52.
2. 森田康夫, イーハトープの数学講座 (整数解の求め方), 数学セミナー, 1983年, 8月号, 50-54, 9月号, 78-82, 10月号, 65-69.
3. 森田康夫, ガロアの理論とは, 数学セミナー, 370 (1992), 18-23.
4. 森田康夫, 20世紀の整数論を顧みて, 数理科学, 368 (1994), 75-80.
5. 森田康夫, 数論的幾何学とは, 数学のたのしみ, 2 (1997), 106-112.
6. 森田康夫, 整数が持つ色々な性質——素数と関連した話題, 数学通信, 2 (1998), 4-19.
7. 森田康夫, 20世紀の整数論を顧みて, 数理科学 臨時別冊 (1998), 45-51.
森田康夫, 教育における時間差, カレッジマネージメント, リクルート, 94 (1998), 35-35.

8. 森田康夫, これからの大学と, 数学教育, シグマジャーナル, 文栄堂, 18 (1999), 30-31.
 9. 森田康夫, 新課程で「高校数学」はどう変わる!? - 「数学基礎」の新設と「数学Ⅰ」の単位減, 「複素数平面」削除の背景, Information, 旺文社, 1999年6月号, 20-23.
 10. 森田康夫, p -進 L -関数とは? 数学のたのしみ, 15 (1999), 46-54.
 11. 森田康夫, 不定方程式を解く, 数学のたのしみ, 17 (2000), 21-31.
 12. 森田康夫, 数学の入学試験 - 常識と非常識, 数学セミナー, 2000年3月号, 40-45.
 13. 森田康夫, コンピューターの安全を守る素数, AERAMook, 61号, 数学がわかる, 2000年, 54-57.
 14. 森田康夫, 教育現場における多様化と, 数学教育に求められるもの, Information, 2000年7・8月号, 18-21.
 15. 森田康夫, 数論と保型形式, 数理科学の別冊「数論の歩み - 未解決問題への挑戦」, サイエンス社, 2000年10月, 80-85.
 16. 森田康夫, p -進数, 数学のたのしみ, 25 (2001), 72-83.
 17. 森田康夫, 数学と (その) 本質 - 高校から大学へ, 蜚雪時代, 2001年5月号, 62-62, 6月号, 70-71, 8月号, 68-69.
- また, 最終回には, 現在行われている大学改革について説明した.
18. 森田康夫, 数学と計算機の理論 - 代数学と通信, 神奈川県高等学校教科研究会数学会通信, 49 (2002), 115-117.
 19. 森田康夫, これからの教育について, 第51次 / 第31次合同教育研究宮城県集會報告, (2002), 49-49.
 20. 森田康夫, 若者の学力低下を考える, 宮城の教育2002 (第52次 / 第32次合同教育研究宮城県集會報告集), (2003), 51-51.
 21. 森田康夫, 数学と社会, 数学通信, 9 (2004), 5-11.

22. 森田康夫, 2004年度個別学力試験を読み解く, View21 (ベネッセ教育総研発行), 3 (2004), 38-47.
23. 森田康夫, 2 少子化と教育, 宮城県教育委員会 Web 版広報 7 月21日発行の「PLANET」および「ぶらねっと」の「提言!」に掲載,
24. 森田康夫, 少子化と数学教育, 数学文化 (日本評論社), 8 (2007), 3-4.

